

テレビについて

地上デジタルテレビ放送について



- 地上デジタルテレビ放送は、現行のアナログ(VHF/UHF)テレビ放送がデジタル化された(UHF帯の電波を使って行う)放送で、2003年12月から関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で開始された放送です。
※アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。
- 車の走行地域(ご利用の地域)で放送が開始されている必要があります。県域(都道府県)を選択して現在地の設定をしてください。
[]「視聴エリアを変更する」I-10
- 地上デジタルテレビ放送は大きく分けて3種類のサービスがあります。
 - ・ テレビ放送……従来からのテレビ放送/ラジオ放送……音声を中心とした放送
 - ・ データ放送……現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの放送※本機ではテレビ放送のサービスを受けることができます。(データ放送、ラジオ放送には対応しておりません。)
- 一般的にデジタルテレビ放送はアナログテレビ放送に比べて数秒程度音声・映像が遅れます。(時報等も同様に遅れます。)
- 受信モードを車の状況にあわせて切り替えることで受信状態を安定させることができます。
※放送切替優先でワンセグ優先・12セグ優先の設定をすることができます。
[]「放送自動切替モードの設定をする」I-32
- miniB-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送は映りません。
[]「miniB-CASカードについて」G-8/[]「miniB-CASカードを入れる/取り出す」G-10
- 地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして、「ワンセグ」があります。
 ・日本の地上デジタルテレビ放送は、約6MHzの帯域を13個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の放送を行なっています。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。
 - ※地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログテレビ放送と同様のUHF帯の電波を使用して放送されています。12セグに比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは12セグよりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。
 - ・地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、2006年4月1日より東名阪およびその他一部地域より順次開始されている放送サービスです。「ワンセグ」サービスの詳細につきましては、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>